V	Technique01	國像補正の基本	
1	03 調整レイ	ヤーの使い方	

トーンカーブやレベル補正を使って直接画像を補正してしまうと、後から補正する前の状態に戻したり補正をやり直すこ とができなくなってしまう。Photoshopの「調整レイヤー」を利用すれば、補正設定を元画像の上にレイヤーとして重ねるこ とができるため、元画像を変更することなく画像を補正することができる。Photoshopが多くのプロフェッショナルに愛用さ れているのは、この調整レイヤーがあるからといっても過言ではない、優れた機能だ。

調整レイヤーの設定

調整レイヤーはボタンまたはメニューから簡単に追加することができる。ここではトーンカーブの調整レイヤーを作成して 基本操作を覚えよう。



- 1. レイヤーパレットの[塗りつぶしまたは調整レイヤーを新規作成]ボタンをクリックするか、レイヤーメニューー"新規調 整レイヤー"のサブメニューから補正項目を選択する。









-- 0.

2. [トーンカーブ]ダイアログが表示されたら、カーブを調節して画像の補正を行い、ダイアログを閉じる。レイヤーパレットを見ると、トーンカーブの調整レイヤーが新たに作成されているのが確認できる。なお、調整レイヤーは複数作成して 重ねることが可能だ。







3. トーンカーブを設定し直したい場合は、レイヤーパレットで調整レイヤーのアイコンをダブルクリックしてダイアログを開く。先に設定したカーブがそのまま残っているので、これを変更すればよい。



 4. 調整レイヤーが不要になったら、レイヤーパレットで調整レイヤーを[レイヤーを削除]ボタンへドラッグ&ドロップする ことで削除できる。

L.44-	パレット相続エリアへ移動	
	新規レイヤー 030 レイヤーを複製 レイヤーを複数 非式示レイヤー主用部	
• 📰 ## 🗅	新規グループ レイヤーからの新規グループ	
- 0.0 0.0 113	ジルーブ内のすべてのレイヤーモロック… 新規スマートオブジェクトに変換 コンテンツを編集	
	レイヤーのプロパティ レイヤー効果	
	クリッピングマスクを作成 て第0	
	レイヤーモリンク リンクしたレイヤーモ激択	
	下のレイヤーと結合 は1 表示レイヤーを結合 QXE 対点を結合 QXE	
	アニメーションオプション I パレットオプション	



5. 調整レイヤーを持つファイルは、Photoshop EPS、JPEGといった形式で保存することができない。このような場合は、 補正が終わった段階でレイヤーパレットのパレットメニュー→"画像を統合"を選択して背景レイヤーのみの画像にすれ ばよい。ただし統合した調整レイヤーは失われてしまうので、統合直前のファイルをバックアップしておくとよいだろう。



調整レイヤーが使えない色調補正

色調補正の項目の中には、調整レイヤーを利用できないものがある。下の図は左がイメージメニュー から選択できる色調補正の項目、右が調整レイヤーで選択できる項目だ。調整レイヤーが使えない補 正項目については、元画像のレイヤーを複製して作業するとよい。

レベル補正 第 自動レベル補正 0% 自動カラー補正 0% 自動カラー補正 0% トーンカーブ 第 カラーパランス 第 明るさ、コントラスト 名相・彩度 第 彩度を下げる 0% が度を下げる 0% カラーの適用 名の面含換え 将定も域の選択 ダウデーションマップ レンズフィルタ シャドウ・ハイライト 端光星	L レベル補正 L トーンカーブ J カラーパランス 8 約るさ、コントラスト 8 色相・彩度 特定色域の選択 デャンネルミキサー U グラデーションマップ U ジラデーションマップ 2 解調化 ポスタリゼーション
削調の反転 第 平均化(イコライズ) 2 落調化 ポスタリゼーション	1
パリエーション	